

検査成績評定表（建築）

文書番号		検査員		印	課長			
契 約 件 名				検 査 種 類				
				完了 一部完了 () 既済 () 中間 ()				
履 行 場 所			契 約 の 相 手 方 (所 在 地)					
契 約 金 額		契 約 確 定 日		履 行 期 限				
評 定 項 目	細 目	重 要 度	評 定 点	小 計 点 (×重要度)	合 計 点			
施 工 管 理	施 工 管 理	1 — 6		A	F=A+B+E			
	品 質 管 理	1 — 6		B				
	出 来 ば え	4 — 6		E				
☐ 再 検 査			工事成績評定点(30点満点換算)					
			検査種類	施工管理	品質管理	出来ばえ	計	合計点
特記事項								
			完了					
			最終成績					

- 備考 1 各細目ごとの評定点は、それぞれ100点満点とし、小数点以下第二位を四捨五入する。
- 2 各評定点に重要度を乗じ、それぞれ小数点以下第二位を四捨五入し、小計点及び合計点を算出する。
- 3 再検査を実施した場合は、再検査欄の□をチェックする。
- 4 合計点に3/10を乗じ、工事成績評定点を算出する。この値を小計点に応じて、各細目ごとの工事成績評定点を算出する(小数点以下第二位を四捨五入)。

検査成績評定項目別評定表(建築)

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	建築	☐ 現場の組織・体制が明確で、かつ現場代理人・主任技術者等が契約内容を熟知している。 ☐ 施工計画・施工要領書は必要な項目が記載されている。 ☐ 施工図を作成し、監督員の承諾を受けている。 ☐ 実施工程表を作成し、必要に応じて修正をしながら、工程を管理している。 ☐ 施工計画・施工要領書の記載内容と現場施工方法が一致している。 ☐ 産業廃棄物処理の書類が過不足なく作成されている。 ☐ 契約内容の疑義・不整合について監督員と協議している。 ☐ 契約内容の変更について監督員と協議している。 ☐ 工事記録写真が工種別に過不足なく撮影され、整理されている。 ☐ 工事記録写真の撮影位置や時期が適切で、施工過程が確認できる。 ☐ 官公庁届出など必要関係書類が過不足なく作成されている。 ☐ 施工管理及び記録の整理に創意工夫がみられる。 ☐ () ☐ ()
	付帯設備	☐ 主要材料について製作・加工工場での検査を行っている。 ☐ 機器、器具等の取付け方法の適否、堅牢性が十分確保されている。 ☐ 官公庁届出など必要関係書類が過不足なく作成されている。 ☐ 工事器材の資料の整理及び確認がされ、管理されている。 ☐ 工事に伴う提出書類が適切に処理されている。 ☐ () ☐ () ☐ ()
	評定点	
	品質管理	

検査成績評定項目別評定表(建築)

評定項目	細 目		評 価 対 象 項 目
施 工 管 理	品質管理	建築	☐ 塗料の種類が設計図の内容と合致し、これを示す資料が過不足なく作成されている。 ☐ 仕上材料の性能試験を実施し、要求性能を満足する資料が過不足なく作成されている。 ☐ 材料検査が、適切な時期、内容で実施され、監督員の確認を受けている。 ☐ 工事記録写真が工種別に過不足なく撮影され、整理されている。 ☐ 品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。 ☐ () ☐ () ☐ ()
		付帯設備	☐ 器材の品質や形状・規格を証明する寸法測定結果、ミルシート(現物照合含む)等の証明書が、過不足なく整理されている。 ☐ 社内検査を実施し、記録も整っている。 ☐ 承諾図書、耐震計算書、防振計算書、その他計算書等が過不足なく作成されていて、内容も適切である。 ☐ 風量測定や圧力測定など各種測定方法が適切である。 ☐ 飲料水、冷温水の水質確認が適切に行われている。 ☐ 使用されている機器類の保証書など、製品の保証を担保する書類が過不足なく作成されている。 ☐ () ☐ () ☐ ()
		評定点	/ × 100 = 点 点
	出来ばえ	建築	☐ 杭芯のズレ・杭施工長さ等、杭の施工精度が良好である。 ☐ 鉄筋の配筋状態が良好なことが確認できる。 ☐ 型枠内の清掃が行き届いており、梁・スラブ・壁内に鋸くず、ゴミ等がない。 ☐ コンクリートの寸法精度(位置・断面寸法・平坦さ)が良好である。 ☐ コンクリートの打ち上がり状態が良く、コールドジョイント・ジャンカが少ない。 ☐ 鉄骨のボルトの締め付けが、仕様書の手順どおりに行われ、これが確認できる。 ☐ 鉄骨の建て入れ試験結果が良好である。

検査成績評定項目別評定表(建築)

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	建築	☐ 防水工事に係る納まり(水たまり、ふくれ、端部処理)は良好である。 ☐ シーリング材が適材適所に使用され、納まりは良好である。 ☐ タイルの張り付け精度が良好で、工法は設計図書の内容を満たしている。 ☐ 木工事の取付け精度が高く、隙間、きしみ等の問題はない。 ☐ 各仕上げ材料の表面仕上げや端部処理の状況は良好である。 ☐ 左官仕上げの状態に不陸、クラックがない。 ☐ 建具(ドア、サッシ類)の可動部分の不具合がない。 ☐ ガラスの厚み、種類、留め材の施工は適切である。 ☐ 戸当たり、手摺、ハンドル類の取付け位置等、使い勝手への配慮がある。 ☐ 塗装の塗り残し、むらがなく施工が適切である。 ☐ 仕上塗材の塗布量が設計図書の塗布量を満足している。 ☐ 仕上げ材料の取付けは、精度が高く、バラツキがない。 ☐ 設備工事との取り合いに係る問題がない。 ☐ 適切な養生が行われ、汚れや傷がない。 ☐ 適切なクリーニングが行われ、施工時の残材、埃等がない。 ☐ 社内検査を実施し、記録も整っている。 ☐ [改修]外壁改修の設計数量と実施数量が把握され、それを示す資料がある。 ☐ 出来形、精度の確保に向けた創意や工夫が見られる。 ☐ 出来ばえの向上のための、創意・工夫が見られる。 ☐ () ☐ () ☐ ()
	付帯設備	☐ システム・施設全体での機能確認、試運転調整が行われ記録が整理され、検査時に確認できる。 ☐ 手直しの多寡、重大な手直しがない。 ☐ 機器の能力及び機器基礎・架台等のサイズが適切である。 ☐ 機器等向上試験成績表・水圧・満水・気密試験成績表が過不足なく整理されている。 ☐ 異音・騒音・振動等が少なく円滑な運転が確保されている。 ☐ 仕上がりが良く、外観の醜美がない。 ☐ 制気口類、センサー類、押しボタン類の納まりが良い。 ☐ 保守・修繕・消耗品等部品取替等への配慮がある。 ☐ 標示・標識等の整備がされている。 ☐ 機器などの操作説明書、取扱説明書が用意されている。

検査成績評定項目別評定表(建築)

評定項目	細 目		評 価 対 象 項 目			
施 工 管 理	出来ばえ	付帯設備	☐ 諸官庁検査のあるものは、検査を受け合格している。 ☐ 検査用測定機器の管理が適切である。 ☐ () ☐ () ☐ ()			
		評定点	/	×	100	= 点

- 備考
- 1

各評価対象項目は、A(3点)・B(2点)・C(1点)・D(0点)の4段階評価とし、チェックボックスに各点数を入れる。
- 2

評定点は、下記の算式により算出する(小数点以下第二位を四捨五入)。
(評価した項目の得点合計)/(評価した項目数×3)×100
- 3

評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
- 4

評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。